

2022年9月15日

各位

株式会社リード

### アニールレス技術の特許取得のお知らせ

弊社は、2021年4月2日に「成形体の製造方法」の特許出願をいたして  
おりましたが、このたび正式に特許権を取得いたしましたので、お知らせいた  
します  
(特許番号：特許第7137245号)。

アニールレスの技術は、熱処理工程を必要といたしませんので、二酸化炭素  
(CO2)排出量の削減に寄与し、環境に配慮した工程を実現いたします。また、  
モノづくりにおいて、コスト削減と、生産性の向上が図れます。

弊社といたしましては、このアニールレス技術を活かし、今後更なる受注拡  
大とCO2削減に努めて参ります。

以上

※アニールレスに関する技術的な内容につきましては、下記「アニールレスに関する特許の  
出願について」(2021年4月2日)をご覧ください。

2021年4月2日

## アニールレスに関する特許の出願について

当社は、本日下記内容の特許を出願致しました。

### 【発明の名称】

「成形体の製造方法および成形体に関するもの」

・自動車用外装樹脂部品の成形品において、アニール処理の省略を実現した成形体と成形体製造方法の発明です。樹脂材料のPP(ポリプロピレン)主材とマスターバッチ(添加剤)の混合物を加熱溶融して射出成型した成形体と成形体を得る成型工程の特許を出願致しました。

### 【発明の内容】

- ・自動車用外装樹脂部品は、経年や熱による寸法変化が大きくまた外観に影響を及ぼすという問題があります。一方、寸法変化を抑えようとすると、成形品の機械的特性が低下する傾向があります。したがって、成形品の機械的特性の低下を抑えつつ、経年や熱による寸法変化を抑制することが重要になります。
- ・成形品の経年や熱による寸法変化を抑えるためには、アニール処理が有効です。
- ・しかし、樹脂材料PP主材とマスターバッチを混合し射出成型して成形体を得ることで、寸法変化を防ぐためのアニール処理を行わず、寸法変化を抑えることが可能になります。
- ・アニール処理に関わる工程の省略により部品費の削減ができ、価格競争力を高めると同時に、環境に配慮した工程を実現します。
- ・本発明により、寸法変化を抑えつつ成形体の機械的特性の低下を抑制し、要求品質を満足できるものとなっています。

### 【特許出願番号】

特願 2021-063392